

## 平成 27 年度奈良市食育推進会議録

開催日時	平成 28 年 2 月 9 日（火）午後 1 時 30 分から午後 3 時まで	
開催場所	奈良市保健所・教育総合センター 9 階 9-1 会議室	
出席者	委員	出席委員 8 人（欠席委員 1 人）
	事務局	8 人
開催形態	公開（傍聴人 0 名）	
担当課	保健所保健総務課	
議題	1	平成 27 年度の食育推進事業について
	2	食育推進事業の今後の取り組みについて

### 議事の概要及び議題・主な意見等

#### 1. 平成 27 年度の食育推進事業について

事務局から本市の食育の取り組み実績及び食育つながるネット事業の実績を報告し承認を得た後、意見交換を行った。

- ・事業により多くの団体がそれぞれに活動していることがわかり、何か大きな力になると感じている。
- ・団体同士が集まった際に何かしてもらえるというのではなく、自分たちがするのだということはまだ理解されていない方や団体がたくさんある。これを発展させていくためには、中核になる団体がでてこないといつまでもばらばらな状態がつづくのではないかと感じている。
- ・事業がはじまり良かった点は、（団体への）依頼が増えたことである。

事務局から補足

- ・奈良市食育つながるネット参加団体は市ホームページで紹介している。
- ・参加団体の名称だけでなく、団体が出来ることがわかるよう、それぞれの団体が「協力できること」「協力がほしいこと」について各団体の紹介とあわせてホームページで公開している。

#### 2. 食育推進事業の今後の取り組みについて

行政の取り組み予定について事務局が説明し承認された後、各委員から団体等の取組み予定について意見交換を行った。

- ・今は体験型や参加型など、講演だけでなく実践が伴うものが求められる。
- ・JA ならけん主催の小学生を対象にしたアグリスクールでは、年間 7 回、主に田植えや稲刈りを開催した。27 年度は 50 人が参加した。地産地消のお弁当コンテストは奈良県農協全体の取組みとして、26 年度は 628 件応募があった。その他保育園や小学校のコメ作りなどのお手伝いなどを行っている。
- ・昨年のすこやかフェスタでは、これまで研究室で幼稚園、保育園で行ってきた食育活動を披露した。各園で効果を追いかけることで論文にするための 1 つの園の効果はデータでできるが、実際やってきた媒体や実践方法が、すこやかフェスタという地域の場を借りて披露できたことが

良かった。学生にとっても自分達がやったことが、対象の園だけでなく地域の子供達の役にたったということが嬉しかったようであり、教育効果も上がりよかった。

- ・10年近く継続している事業で、活動の中心になる方が疲れてきているものもある。中心になる方に責任が偏るので、つながるネットで協力していけばもっとひろがるのではないかと。
- ・これまで講演したなかで多い質問は、「レシピが知りたい」など身近なことである。身近なことに答えていくことが大切であると思う。
- ・事業を通じて感じるのは、子どもを対象にする際は、発達や年齢を考慮することが重要ということである。1歳までの子どもであれば子どもだけでなく、お母さんの体のケアも必要となる。今の若い方が求めていらっしゃるの離乳食である。
- ・商品のカタログ一つにしても、目からはいる方が多い。安心・安全はもちろん、働いている母が増えるいま、簡単でおいしく経済的で見た目にボリュームのあるものを求められている。
- ・これだけ多くの情報があふれていても、意外と食べものや身体の基本知識がない方が多い。
- ・飲食店でお客様のうち、離乳食を自宅で準備されてお持ちになられる方もいる。
- ・最近、肥満は解消の方向である。だいたい高度肥満は5%ほどいる。学校医は全市に出向いて学校健診を毎年行う。問題のある子は学校の養護教諭に伝える。ほとんどの場合、早食いや夜食、「ながら食べ」が問題となっているが見ていないと指導はできないので肥満に関して、指導して欲しい。
- ・診察で問題になるのは便秘。離乳食がはじまって10歳くらいの子までは親がどうすればよいかと困っている。親に聞くと野菜を食べず肉ばかり食べているという。薬をだせば便はでるが、子どもの便秘の場合、食事で改善されてはどうかと提案している。大きな病院であれば栄養指導もあるが、小さい病院ではそうはいかない。気軽に相談できる窓口をつくってほしい。
- ・食物アレルギーは食育でやる必要はないが、便秘などはこうすればよいということを具体的に相談できるとよい。医療に問題がない肥満や便秘について、いかに具体的に親に指導できるものがあるかが重要である。専門家の方に指導していただきたい。
- ・食育つながるネットのよいところは一緒に行動できることである。食推として何ができるか、会として今後検討していきたい。連携した取り組みを検討したい。
- ・つながるネットに多くの団体が参加していても実際に何かしようと思えばそれぞれ代表者をだし定期的に会議を開催するなどしないとバラバラである。予算がないと運営ができない。
- ・奈良県にあるヘルスチーム菜葉は各大学でサークルとして活動している。学生は生活力がないがデザインが得意であり、食推さんなど実践力がある団体と協力するのも一つである。

資料

【資料1】奈良市食育推進会議規則

【資料2】奈良市食育推進会議 委員名簿

【資料3】事務局説明用スライド

【資料4】奈良市食育つながるネット実施要領

【資料5】食育情報だより

【資料6】第2回奈良市食育つながるネット交流会×ワークショップチラシ

【資料7】奈良市食育推進計画概要版